

WANの最適化への難関？ 救いの手はすぐそこに。

デジタル・トランスフォーメーションとは、企業がワイドエリアネットワーク (WAN) を含むテクノロジーを再考してアップグレードしなければならないことを意味します。IDG ResearchとCenturyLinkの最新の調査によると、多くの企業がWANの更新を計画していますが、そこには多くの困難な課題があります。

多くの人がマネージドサービスプロバイダ (MSP) を利用することで、ネットワークコストを削減し、迅速化し、帯域幅を最適化できると言っています。

WANを更新するタイミング

50%

デジタル・トランスフォーメーションをサポートするためにWANを更新する予定がある

57%

最適化に向けてすでに始動している

多様な目的がWANの更新を推進



49%
ネットワークのパフォーマンスを改善



49%
ネットワークのセキュリティを改善



48%
ネットワークの敏捷性と応答性を高める



46%
ネットワークコストの削減



40%
IoTデバイスエンドポイントの増加に対応



38%
帯域幅消費型アプリケーションに対応

WANの最適化に伴う課題

95%
超

の企業が、コスト/パフォーマンス、ビジネスへの影響、ユーザー/顧客満足度など、WAN管理における課題の結果として、悪影響を受けたことがあります。

上位の課題

39%

スキルのギャップ

38%

帯域幅ニーズの管理

36%

最適なパフォーマンスの獲得

マネージドサービスプロバイダ (MSP) による、 リスクの軽減と結果の迅速化

47%



の組織が、MSPを利用したことがある、または利用しています

実際のメリット：

37%

ネットワークコストの削減

37%

ネットワーク速度の向上

35%

帯域幅最適化の向上

31%

クラウドアプリケーションへのアクセスのサポート

29%

ネットワークの敏捷性と応答性の向上

29%

セキュリティの改善

26%

アプリケーションパフォーマンスの向上

すべてのMSPが同じではありません。

IDG Researchの調査回答の中で最も一般的な属性は次のとおりです。



ネットワークセキュリティとソリューションの体験



独自の環境でソリューションをカスタマイズする機能



価格/TCO



クラウドサービスの相互接続性

CenturyLink® SD-WANの詳細をご参照ください



調査について

このIDG Research調査は、2018年6月に米国で実施され、結果は100名の適格回答者の回答に基づいています。この調査の対象者は、財務、ヘルスケア、製造、小売の各組織のIT関連部門に所属し、広域ネットワーク (WAN) のツールやソリューションの購入プロセスに携わるマネージャレベル以上の人物です。対象となる会社の規模は、従業員数500人以上で、平均従業員数は7,145人、従業員の中央値は3,750人でした。

利用できるサービスは国または地域によって異なります。CenturyLinkは、独自の裁量で予告なしに製品およびサービスを変更もしくは停止、または類似の製品およびサービスで代替する場合があります。©2018 CenturyLink. All Rights Reserved. CenturyLinkの商標、パスウェイのロゴ、および特定のCenturyLinkの製品名は、CenturyLinkの資産です。その他のすべての商標はそれぞれの所有者の資産です。